

『スポーツの日記念事業』

令和5年度 第41回千歳少年少女柔道優勝大会兼 千歳中央ライオンズクラブ旗・千歳市青少年育成市民会議旗・佐藤壽保旗 争奪柔道大会要項

1. 趣 旨： 本大会は、柔道の正しい普及と次世代を担う青少年の健全育成を図ることを目的とする。
2. 日 時： 令和5年12月17日（日）
開会式 午前 9時00分 競技開始 開会式終了後（選手受付午前8：00から）
3. 会 場： 千歳市開基記念武道館 柔道場（千歳市あずさ1-3-1 TEL0123-22-2100）
4. 主 催： 千歳柔道連盟
5. 参加資格： (1) 対象は、小学校、中学校に在籍している者であって、「学校」「柔道場」「クラブ」「少年団」等の単位とする。
(2) 参加者については、選手本人の出場意思を確認し、健康に十分な配慮を行い保護者並びに団体の承認を得たものに限る。
(3) 監督・チーム（団体）・選手とも北海道柔道連盟をとおして、該当年度全日本柔道連盟に登録していること。
(4) 監督は、全日本指導者資格を有している者。
(5) 出場チームは、必ず全日本柔道連盟に登録している監督又は指導者が引率する事。
(6) 傷害保険については主催者負担で加入する。
(7) 大会中における負傷・疾病については応急処置を施すが、それ以外は傷害保険の範囲内で責任を負うものとする。
(8) 皮膚真菌症（トリコフィトン・トングランス感染症）について発症の有無を各所属の責任において必ず確認する事。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行う事。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場が出来ない場合もある。
(9) 脳震盪対応について（選手および指導者は下記事項を遵守すること）
ア 大会前一月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。（尚、至急、専門医（脳神経外科）の検査を受ける事）
ウ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得る事。
エ 当該選手の指導者は、大会事務局および全柔連に対し書面により事故報告書を提出す事。

6. 試合方法

- (1) 団体戦（男女混合可）
 - ア 小学生 低学年（1年から3年）の部・高学年（4年から6年）の部、及び中学生の部
 - イ 1団体から各部に2チーム出場できる。但し主催団体はこの限りでない。
 - ウ チーム編成は監督1名、選手5名、補欠2名の計8名とする。やむをえず選手が5名に満たない場合は、3名以上であれば出場できる。
 - エ 選手の編成は以下のとおりとする。
低学年の部：大将から学年順、体重の重い順に配列する。先鋒は1・2年生とする
高学年の部：大将から学年順、体重の重い順に配列する。先鋒は4年生とする
中学生の部：段・級・学年は自由とし、大将から体重の重い順に配列する

負傷等で欠員が生じた場合も大将から学年、体重順に配列する。

オ 試合はトーナメント戦とする。

カ チーム間の勝敗の決定は次による。

(ア) 勝者数の多いチームを勝ちとする。

(イ) アで同等の場合は「一本」(それに同等の勝ちを含む)による勝者数の多いチームを勝ちとする。

(ウ) イで同等の場合は、「技有」による勝者数の多いチームを勝ちとする。

(エ) ウで同等の場合は、代表者1名を「引き分け」であった対戦の中から一試合を抽選で決定し小学生1分、中学生1分30秒)を1回行い勝敗を決する。(優劣が決しない場合は旗判定とする。GSは行わない。)

(2) 個人戦

ア 小学生 低学年(1~2) 中学年(3~4) 高学年(5~6)の部
中学生 男子の部・女子の部

イ 各チームから2名出場できる。但し主催者団体はこの限りでない。

ウ 試合はトーナメント戦とする。但し、出場選手が少人数の場合はリーグ戦とする。

7. 試合時間

団体戦、個人戦ともに中学生3分、小学生2分としランニングタイムとする。(必要に応じ止めるものとする。)

但し、決勝戦については、小学生、中学生ともに正規時間とする。

8. 審判規定

(1) 試合は、国際柔道連盟試合審判規定の国内における「少年大会特別規定」で行う。

(2) 勝敗の判定基準

ア 団体戦 「一本」「技有」又は「僅差」とする。「僅差」とは双方の選手間に技による評価(技あり)がない、または同等の場合、「指導」差が2以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。1差であれば「引き分け」とする。

イ 個人戦 「一本」「技有」又は「僅差」とし、指導の差が1の場合は旗判定とする。
(GSは行わない)

9. 表彰 団体試合・個人試合ともに優勝・準優勝・3位(1団体・1名)までを表彰する。

10. 審判監督会議 午前8時30分 審判会議 終了後 監督会議

11. ゼッケン

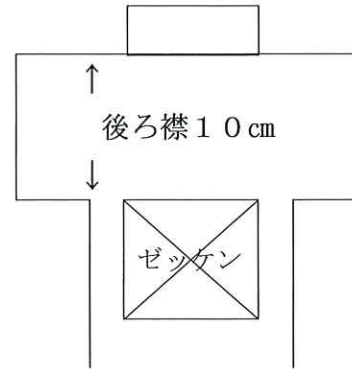
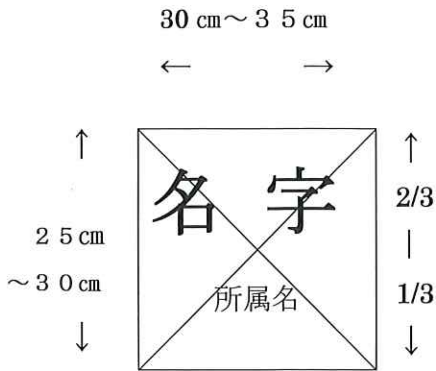
(1) 参加選手はゼッケン(名字、所属名入り)を柔道衣に取り付けること。

(2) ゼッケンを取り付けていない選手は、原則出場できない。

布 地	白色(晒、太綾)
サ イ ズ	横30cm±3cm×縦22cm±3cm
文 字 位 置	名字(苗字)は上側2/3、所属名は、下側1/3横書き
書 体	太いゴシック(楷書)、男子は黒色、女子は濃い赤色
縫 い 位 置	後ろ襟から10cm、対角線にも強い糸で縫い付ける

例図1 ゼッケンの文字位置・サイズ

例図2 ゼッケンの縫い位置



12. 申し込み方法

同封の申込用紙にて令和5年11月22日水曜日まで下記事務局まで郵送にて申込みをお願い致します。

(*FAX・メールでの受付はしておりません。)

参加料については申込同日、以下の口座にお振込み願います。

参加料	団体戦	1チーム	7,000円
	個人戦	1名	1,000円 (団体戦登録選手は必要なし)

【振込口座】 北洋銀行千歳中央支店 千歳柔道連盟 会長 稲村政彦
 口座番号 4229760

オーダー提出先／ 問い合わせ

〒066-0072 千歳市自由が丘2丁目8-14

千歳柔道連盟事務局 木原 誠治 宛 TEL 080-4503-2672

13. 抽選会 令和5年11月26日 大会事務局で行う。

14. その他：

(1) 個人情報の取り扱いについて

申込用紙に記載される事項(選手の氏名・学校名・体重等)は大会プログラムに掲載されます。また、大会結果・写真などの新聞・雑誌・ホームページへの掲載については保護者からの承諾を得たものとして取り扱わせて頂きます。

(2) 試合場におけるコーチの振る舞いについて

コーチの役割

- ア コーチは、選手への様々な状況における指示、戦術的なアドバイス、怪我の対応など、選手とのコミュニケーションを取ることを目的とする。
- イ コーチは、自身の選手が大会会場に入場してから退出するまでの間、選手の行動に責任を持たなければならない。

コーチの言動

- ア 試合が止まっている間(「待て」から「始め」の間)のみ、選手に対して指示を与えることができる。試合続行中は、選手に対して指示を与えることが許されない。
- イ 次の行動を禁止する。
 - (ア) 試合が続行している最中に指示を出すこと。又、試合中に立ち上がること。
 - (イ) 審判員の判定に対し、コメントや批判、或は訂正を要求すること。
 - (ウ) 対戦相手、審判員、役員、一般客、および自分自身の選手を侮辱する行為
 - (エ) 広告看板や器具に触ったり、殴ったり、蹴ったりすること。

(オ) その他、柔道精神に反する行為

ウ 原則として、コーチは審判員に準じた服装として、全柔連公認指導者資格証IDカードを付けるものとする。

罰則

上記に違反した場合は、下記による処分を科するものとする。

ア 1回目は、審判員が合議の上、口頭による注意をする。

イ 1回目の注意で改善されない場合は、審判員が大会委員長または審判長に報告の上、大会委員長または審判長の責任のもとにその試合が終了するまで試合場フロアの外へ退去させる。但し、試合はその後も続行するものとする。

ウ 次の試合からは、またコーチ席に座ることができるが、その後も改善が見られない場合はその大会期間を通して試合場フロアへの入場を禁止する場合もある。

(3) 前大会優勝チームは優勝旗をご持参願います。

小学生低学年の部：鹿追柔道少年団

小学生高学年の部：千心会柔道クラブA

中学生の部：南幌町柔道少年団